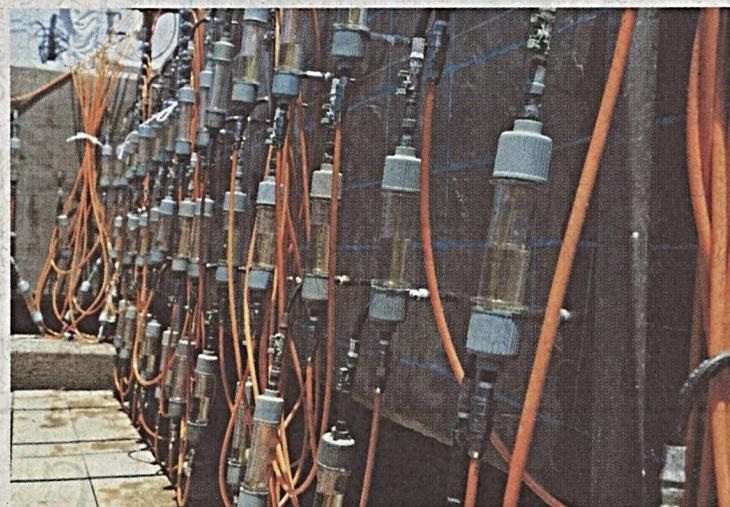


変わる マーケティング

普及へ協会組織と講演会

空圧機器で高圧注入するタイプの「リハビリカプセル工法」の施工現場



二つの劣化原因に対処する。亞硝酸イオンが鉄筋のさびを止め、リチウムはASRの吸水膨張を抑える。

以前は、コンクリー

モノづくりの町

「広島はやはりモノづくりの町。広島だからこそ開発できた」と

徳納社長。コンクリー

南区)の協力を得て開

トへの穴開け工具では

コトブキ技研工業(東

京都新宿区)、空圧機

器ではフマキラー系の

110社が加盟

リハビリ工法の開発

が進むにつれ、97年に

施工業者など21社で広

島県コンクリートメン

テナансス協会を設立。

(広島・清水信彦)

福德技研

技術をオープン
橋梁やトンネルなど
インフラの劣化が問題
になる中、コンクリー
トの補修技術に注目が
集まる。福德技研(広
島市中区、徳納剛社
長、0822・2443・
55335)の「リハビ

劣化コンクリートを補修

リハビリ工法」は、コンクリートの劣化原因そのもの

協会組織を通じ、技術

をオープンにして普及
を図っている。

トの表面に亜硝酸リチウムを塗つて含浸させ

る方法が主で、再劣化が起きていた。福德技

研は、圧力をかけてコンクリート内部に亜硝酸リチウムを注入する方法を開発。劣化の部

位や規模などに応じ、

今後への期待も高いと

して、2018年の

「中国地域ユービジ

ネス大賞」を受賞し

た。



コンクリート構造物の補修・補強に関するフォーラム

さらに11年に全国組織の一般社団法人コンクリートメンテナンス協会として発展させた。

同協会は「コンクリー

ト構造物の補修・補強

に関するフォーラム

と名付けた講演会を全

国10カ所以上で開催す

るほか、見学会や技術

研修も実施し、北海道

から沖縄県まで約11

0社が加盟するまでに

なった。

フォーラムでは、リ

ハビリ工法以外のコン

クリート補修技術も広

く紹介する。市場ニ

ーズが新設から補修へと

シフトする中で、うま

くなる、技術的な理解

を進めることで、リハ

ビリ工法の普及につな

がげる意図だ。苦労して

実用化にこぎつけた工

法をオープンにするこ

とにについては「当社だ

けではとても全国に広

めることはできない。

薬品や機器の販売で収

益をあげていければ

と徳納社長は話す。